

# 北殿駅前新聞5月号長田病院発行

★**医院ニュース①** 5月23日(月)、5月24日(火)は**特別休暇**です。終日休診です。よろしくお願いいたします。

★**医院ニュース②** 5月10日(火)、5月31日(火)は**南箕輪小の健診**のため、5月11日(水)、5月19日(水)、5月27日(金)は**北部・中部保育園の健診**のため、12:30きっかりで診療を終了します。延長は出来ません。午後は普通にやります。

★**医院ニュース③** 5月15日(金)、5月29日(金)は、**伊那中央病院地域救急医療センター**で夜間診療に従事します(午後7時~10時過ぎ)よって**夕方**の診療は**18時15分**くらいで終了となります。

★**医院ニュース④** 院長出演の**BSジャパン「教えてドクター! 家族の健康」**の放映は、**5月14日20時54分**からです。テーマは「**不整脈・心室性期外収縮と言われたら**」です。昨年の「奥様はホームドクター」は事前打ち合わせがあったためスタジオに入ってすぐ収録が開始となったため、突然、頭が白くなってしまい、あんまり上手に説明が出来ませんでした。でも興味のある方はぜひ見てやって下さい。木佐彩子さんは気さくで明るくてとても良いかたでした。

## アルツハイマー型認知症の3つの段階

アルツハイマー型認知症の症状の現れ方や進み方には個人差がありますが、おおよそ以下の3つの段階を踏んで進行していきます。

### ①軽度アルツハイマー型認知症

発症以前からの「もの忘れ」が少しずつ悪化していく段階です。日付や時間、場所、人がわからなくなる[失見当識]など、認知能力の変化がはっきりと現れますが、日常生活は送れます。老化現象と判別しにくい段階ですが、アルツハイマー型認知症と診断されることがもっとも多い時期でもあります。主な症状には、以下のものがあります。軽度の内に、生活療法や薬物療法などを行うことにより、有効な認知症の進行予防が図れます。

- |                               |                 |                                |
|-------------------------------|-----------------|--------------------------------|
| a. 遠くへ歩いて行こうとしたり、迷子になる        | e. 同じことを何度も聞き返す | f. 日常生活の作業に時間がかかるようになる         |
| b. 自宅のトイレの場所がわからなくなる          | g. 判断力が低下する     | h. ありえないところに物を置き忘れたり、置いた場所を忘れる |
| c. お金の支払いや銀行振込み、家計の管理などが困難になる | i. 感情や人格が変化する   |                                |
| d. 直前にした、あるいは起きたことを思い出せなくなる   |                 |                                |

5月 ★5月23~24日は休診です。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

毎週土曜夜放送

## 教えて!ドクター 家族の健康

出演 当院の院長が出演いたします。是非ご覧ください。

フリーアナウンサー 木佐彩子 院長 長田 和裕先生

番組テーマ 「不整脈・期外収縮と言われたら...」

2016年5月14日(土) BSジャパン (BSデジタル7ch) 20時54分~21時00分

### ②中等度アルツハイマー型認知症

もの忘れがさらに悪化し、過去と現在の記憶を混同しがちになる段階です。ただし、この段階ではまだ過去の記憶は残っています。もの忘れだけでなく、自分のいる位置関係も把握できなくなり、徘徊が始まります。季節や時間の感覚が薄れ、前頭葉など、思考をコントロールする脳領域の機能が低下します。さらに、適切な言葉が出ないといった言語障害も起こります。主な症状は、以下のとおりです。

- |                               |                               |
|-------------------------------|-------------------------------|
| a. 記憶障害が悪化し、錯乱が起こる            | f. 服の着方など、複数の手順による一連の動作が困難になる |
| b. 親しい家族や友人を認識しにくくなり、名前を忘れる   | g. 季節や状況に適した衣服が選べなくなる         |
| c. 適切な言葉が出てこなくなる              | h. 幻覚や妄想などの精神症状や徘徊が見られる       |
| d. 新しいことに対応できなくなる             | j. 暴力、万引きなど、衝動的な行動を起こすことがある   |
| e. 今までできていた家事や買い物、入浴などができなくなる |                               |

### ③高度アルツハイマー型認知症

言語障害が進み、会話やコミュニケーションがとれなくなる段階です。身体機能が低下して歩行や飲食なども困難になり、最終的には寝たきりになるケースもあります。主な症状は、以下のとおりです。

- |                         |                             |
|-------------------------|-----------------------------|
| a. コミュニケーション能力が低下、喪失する  | f. 食事中にむせて飲みこむのが困難になる(嚥下障害) |
| b. 歩行が困難になるなど、身体能力が低下する | g. うめき声をあげるようになる            |
| c. 体重が急激に減少する           | h. 睡眠時間が増える                 |
| d. 意識の喪失や痙攣を起こす         | i. 尿や便の失禁が起こる               |
| e. 皮膚感染症にかかることもある       | j. 自発的な行動や反応ができなくなる         |

### 症状をコントロールするために使われている薬

現在、症状をコントロールするために使われている薬は以下の通りです。

- ①不安・緊張・いらだち・うつ状態 など…抗不安薬
- ②興奮・攻撃性・幻覚・妄想・徘徊 など…精神安定薬
- ③うつ状態・無関心・不安・いらだち など…抗うつ薬
- ④自発性の低下・うつ状態・意欲の減退 など…脳循環代謝改善薬
- ⑤不眠・夜間覚醒・昼夜逆転 など…睡眠(導入)薬

### 「アセチルコリンエステラーゼ阻害薬」

アルツハイマー病患者の脳では、情報の担い手となる様々な神経伝達物質を作る神経細胞が破壊されています。特に、神経伝達物質の中でもアセチルコリンという、伝達物質を作る神経細胞の破壊が進んでいます。ドネペジル、レミニール、イクセロンパッチなど薬は、アセチルコリンを分解するアセチルコリンエステラーゼという酵素の働きを妨げることで、脳内のアセチルコリンの濃度を高めて症状を改善する効果があるといわれています。メモリーは、神経細胞死の進行に関与するNMDA受容体を阻害することにより、認知症の進行を防ぐ薬です。この薬を飲み続けると、1年程度といわれていますが、記憶力や判断力が改善されます。また、認知症の進み方も遅くなります。ヤマブシタケは、脳内のグリア細胞から分泌される神経成長因子(NGF)の増加を介して神経細胞の生存促進、活性化を行うことで認知機能に作用すると考えられています。

